

## エトヴェシュ・ローランド大学（ハンガリー）

### 《最近感じた文化の違い》

最近、ハンガリー人(ヨーロッパの人)と日本人の考え方の違いについて気づいたことを書きたいと思います。日本では、「お客様は神様」という言葉があるように、お客さんには丁寧な接客をするのが当たり前ですが、イタリアに旅行したり、ハンガリー人の友人と話していたりする中で、ヨーロッパでは「お店側のほうがお客さんよりも偉い」という風に考えるのだと知りました。ローマでレストランを利用した時に、メニューに書かれていなかったサービス料をお会計の時に支払わされることになり、友人と怒っていました。そのレストランのネット上のレビューには私と同じような経験をした人がたくさんいて、彼らは苦情コメントと共に低評価を押していました。そうした投稿にはレストラン側も負けずと侮辱ともとれる嫌味なコメントを返して、日本では考えられない光景でした。

また、ハンガリーでは、レストランで料理に何か不満があっても、「もしもクレームをしたら料理に唾をかけられる」と恐れて、ウェイターに何か苦情を言うことはほとんどないそうです。これまでの経験から、ヨーロッパの人は何か嫌なことがあったら何でもストレートに相手に伝えるイメージがあったので、このような考え方には驚くとともに、日本人のサービスへの考え方との違いが面白いなと思いました。いろいろな国に旅行をするたびに、レストランでお冷が無料で出てきたり、雑貨屋さんで無料でラッピングをしてもらえたり、笑顔で接客をしてもらえたりする日本のサービスの素晴らしさを実感します。

## ウィーン大学（オーストリア）

今月はプロゼミの授業の一環で現代音楽、フルクサス（Fluxus：1960年代に欧米を中心に展開された前衛芸術運動）のイベントに参加しました。このイベントは、クラシック音楽等のコンサートホールで行われるものとは全く異なり、住宅アパートや道路、公園、レストラン等で行われ、その間は徒歩やバスで移動し、また移動中にもパフォーマンスが行われたりしました。午後6時から11時くらいまで約4時間行われ、パフォーマンスも道路で10分間ひたすら笑い合うものや夜の住宅街でヴァイオリンを引きずりながら歩くなど、音楽と聞いて一般的に想像するものとはかけ離れているものでした。現代音楽のイベントに参加するのは初めてでしたが、とても楽しくワクワクするもので、パフォーマンス内容は全く理解できませんでしたが、これまであまり好きではなかった現代音楽に対する興味が高まり参加することができて本当に良かったなと思います。これからはクラシック音楽だけではなく、現代音楽のイベントにも足を運んでいきたいです。

イースター明けのプロゼミの授業では、現代音楽のアーティストによる座談会も行われました。ドイツ語で行われたため私はほとんど理解できませんでしたが、とても盛り上がっており、もっとドイツ語ができればなあともしどかしかったです。

## ゲーテ大学 (ドイツ)

とうとう残りの留学生活が1か月になってしまいました。留学はあっという間というのはよく聞きますが、こんなにあっという間だとは思っていませんでした。今月も授業を受けては友達と食べたり飲んだりを繰り返す充実した1か月でした。

今月のAkadeMiというドイツ語の授業は青空教室が多かったです。天気がとても良いので、公園で授業を受けたり植物園に行ったりと外で授業を受けました。日本の大学ではなかなか味わえない貴重な経験でした。7月半ばで大学の授業が終わります。AkadeMiの最終課題はプレゼンテーションです。5分間自国のことをドイツ語で紹介するという課題です。Public Finance and Economicsに関しては100%試験の結果で単位の合否が決まります。7月末に試験があります。6月は少し復習を進めることができたので、7月は本格的にテスト勉強をしようと思っています。

最近、とても暑くなってきてドイツも夏が感じられる気候になってきました。ドイツは日影にいると気温は低く風も通るのでまだ涼しいのですが、日向はとても日差しが強く暑いです。ドイツの家にはエアコンがありません。部屋の中も日陰だから大丈夫かと思っていましたが、実際は風もあまり通らないし熱がこもるのでとても暑いです。なので、夜暑くて寝られないこともあります。しかし、私はちょうど日本から小さい扇風機を持ってきていたので今は何とか暑さを凌いでいますが、もっと暑くなるとどうなるか心配です。ヨーロッパに今後留学を控えている方には小さな扇風機を日本から持ってくることをお勧めします。

今月は友達の誕生日があってパーティをしたり、オムライスや唐揚げを作ったりしました。日本食のレストランに行くことも多く、とても日本食が恋しくなっています。そういう意味では日本に早く帰りたいものです。

## ウィーン大学 (オーストリア)

語学学校では、これまで学んできたことをこの1ヶ月できちんと復習し、合格することができました。しかし、ライティング、リスニングなど筆記試験に関しては問題なかったのですが、スピーキングに関してはこれまで練習してきたにもかかわらず思うように話すことができず合格点はもらえましたが、満足のいくような結果にはならず筆記に重点を置いた試験対策に後悔が残っています。

大学では、6月の下旬まで授業があり、その後6月の最終週から7月の上旬にかけて期末試験がありました。私は3つの授業を受講していましたが、ドイツ語でテストを受験するのは厳しいと判断し、1科目のみ受講しました。この1科目のみのテストの感想としては、日々勉強し復習していても深く理解できていなかったことに気づきました。

6月は先月の報告書で目標にしたようにリーディングに力を入れました。これまでリーディングの勉強はしてきましたが、長時間ドイツ語を読み続けるために圧倒的に語彙力が足りないことを痛感しました。7月は夏休みに開講される語学学校に通い続ける予定です。語彙力の強化と、人と話すときに自分の意思を伝えるだけでなく、相手の話をさらに広げられるようにリスニング、そしてスピーキングに特に力を入れてドイツ語の勉強に邁進したいと考えています。